

事務事業評価シート 令和 2 年度事後評価・決算

令和 4 年 2 月 10 日時点

事務事業名		コード	10300	あさひ健康福祉センター運営事業	予算科目	会計	一般	款	3	項	1	目	1	事業種別	社会福祉課	担当班	社会班
基本施策		5	保健・医療の充実	根拠法令	あさひ健康福祉センターの設置及び管理に関する条例等											☒ 主な事業	
施策の展開		11	健康づくりの推進	戦略事業	53	高齢者筋力向上トレーニング事業											☐ 国土強靱化地域計画
施策の展開				戦略事業													☒ 新市建設計画
																	☐ 定住自立圏構想
																	☐ 主要事業

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 16 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 令和 年度まで	高齢者を対象に、転倒による骨折や加齢による運動機能の低下を防ぐため、高齢者向けのウォーキングマシン・エアロバイク等の筋力を高めるトレーニング機器及びマット・ボール等を使用して、専門のトレーナーの指導を受け、健康な体作りを図る。 実施場所は、あさひ健康福祉センター2階（パークゴルフ場管理棟2階）で週4日実施（水・金曜日休館）指導の時間は、午前10時から午後4時まで	あさひ健康福祉センターは、市民が気軽に利用でき、教養文化の向上を図り、福祉の増進と地域社会の健全なる発展に寄与することを目的として、平成16年に市が設置した。その施設内に、高齢者向けの軽運動スペースを設置した。	開設当時は週3日実施していたが、利用者が増加したため現在は週4日実施している。開設から年数が経過し、トレーニング機器の老朽化が目立ち、型式が古く修理不可となったままのものが目立つ。	パークゴルフ場の開設に伴い、その2階に移動したことで、急な階段を上ることから利用しづらくなった。 トレーニング機器が故障したままで、使いたいものが使えない。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細 (2年度の決算)	単位:千円	単位	29年度 (決算)	30年度 (決算)	1年度 (決算)	2年度 (決算)	3年度 (予算)
1.委託料	4,356	1. 委託料	千円	4,147	4,235	4,317	4,356
			千円				4,634
			千円				
			千円				
			千円				
② 特定財源の内訳 (2年度の決算)	単位:千円	事業費計 (A)	千円	4,147	4,235	4,317	4,356
1.国庫支出金		1. 国庫支出金	千円				
2.都道府県支出金		2. 都道府県支出金	千円				
3.地方債		3. 地方債	千円				
4.その他		4. その他	千円				
		5. 一般財源	千円	4,147	4,235	4,317	4,356
							4,634

前年度増減理由	消費税率増による増
---------	-----------

従事職員数	常時 6 人	最大 人	× 日 = 延べ 人
-------	--------	------	------------

(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

① 主な活動	③ 活動指標名	単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (計画)
2年度実績 (2年度に行った主な活動) 高齢者向けトレーニング機器を使用した、専門スタッフの指導による運動機能向上トレーニング	ア 開設日数	日	205	203	178	161	180
	イ						

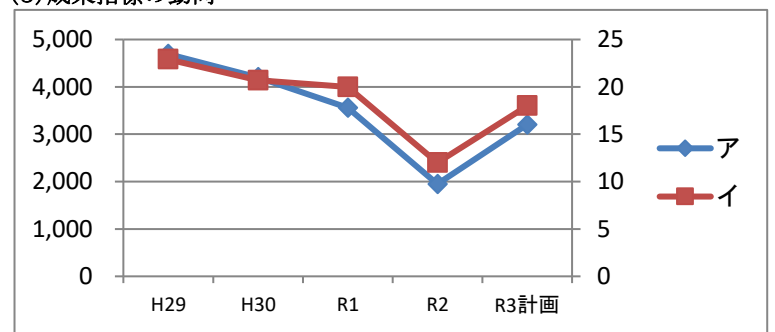
② 対象・意図 (対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標名	単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (計画)
対象 おおむね65歳以上の高齢者	ア 利用者数	人	4,692	4,202	3,558	1,949	3,202
目的 高齢者が専門家によるトレーニングや健康指導を受けることによって、運動する習慣をつけ、健康な体になる。	イ 1日当たり平均利用人数	人	23	21	20	12	18
対象意図							

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果		
成果向上余地	評価結果	コスト比率		
		下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
大きい				
普通	⑤			
小さい				

成果優先度	評価結果	コスト比率		
		下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
①				
②				
③				
④⑤	(4)			
⑥				
⑦⑧				
⑨				

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況		☐ 完了 ☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難												
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)														
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	成果指標のタイプ	☒ 数値増＝成果向上	☐ 向上	☐ 横ばい	☒ 低下	成果動向	比較	28年度	29年度	30年度	1年度	2年度
	【コメント】 (低下の場合、その理由)	成果指標イ		☒ 数値増＝成果向上	☐ 向上	☐ 横ばい	☒ 低下	ア		29年度	30年度	1年度	2年度	3計画	
			緊急事態宣言による休館による低下。							イ	△196	△490	△644	△1,609	1,253
										イ	△1	△2	△1	△8	6
③ 今年度取組事項 (3年度に取り組む主な事項について記載)		時期	内容			今後の方向性	☒ 拡大 ☐ 縮小		☐ 現状維持 ☐ 廃止・休止		☐ 見直し ☐ その他()				
		通年	入浴客や老人クラブ、あさび体操を行う団体等に声掛けし、新規利用者の増加を図る。 施設の維持補修を進める。 10月長期継続契約更新のための事務			設備更新	老朽化したトレーニング機器を順次買い替える必要がある。								
		8～9月													